

## 2026年2月期 第3四半期決算短信【日本基準】(連結)

2026年1月9日

上場会社名 株式会社ヨンドシーホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 8008 U R L <https://yondoshi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田 英紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役常務執行役員財務担当 (氏名) 西村 政彦 (TEL) 03-5719-3295  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年2月期第3四半期の連結業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年2月期第3四半期	百万円 50,791	% 74.0	百万円 1,920	% 66.7	百万円 2,175	% 48.2	百万円 1,246	% 23.5
2025年2月期第3四半期	29,193	1.7	1,152	△13.8	1,468	△11.7	1,008	9.5

(注) 包括利益 2026年2月期第3四半期 2,261百万円 (70.8%) 2025年2月期第3四半期 1,324百万円 (△13.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年2月期第3四半期	円 銭 58.05	円 銭 —
2025年2月期第3四半期	47.02	—

(参考) のれん償却前営業利益 2026年2月期第3四半期 2,857百万円 2025年2月期第3四半期 1,524百万円

当社は、のれん償却前営業利益を重要な経営指標としております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年2月期第3四半期	百万円 71,142	百万円 39,409	% 55.4	円 銭 1,834.64
2025年2月期	66,494	38,935	58.5	1,812.89

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 39,398百万円 2025年2月期 38,915百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭 —	円 銭 41.50	円 銭 —	円 銭 41.50	円 銭 83.00
2026年2月期	—	41.50	—	—	—
2026年2月期(予想)				41.50	83.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年2月期の連結業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
通期	百万円 66,000	% 43.8	百万円 2,800	% 42.8	百万円 3,150	% 33.9	百万円 1,600	% 16.2	円 銭 74.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) のれん償却前1株当たり当期純利益は、通期132円69銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |    |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | ：無 |
| ④ 修正再表示              | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年2月期3Q	24,331,356株	2025年2月期	24,331,356株
2026年2月期3Q	2,856,576株	2025年2月期	2,865,396株
2026年2月期3Q	21,471,873株	2025年2月期3Q	21,460,008株

(注)自己株式数については、当四半期連結会計期間末に役員向け株式給付信託が所有する当社株式174,009株を含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年3月1日～2025年11月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、緩やかな回復基調となりました。個人消費については持ち直しの動きがみられる一方、物価上昇の継続による消費者マインドの下振れ等が個人消費に与える影響もあり、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

流通業界におきましては、円安基調の為替相場のもと、インバウンド需要は持ち直しの動きがみされました。また、株価の堅調な推移を背景に、富裕層による高額品需要が拡大する一方、物価高騰に賃金の上昇が追い付かない状況が続き、消費者の節約・低価格志向が継続したことで、消費の二極化が進行しました。

このような状況のなか、当社グループは、第7次中期経営計画の2年目となる2026年2月期におきまして、経営環境の変化に対応しながら、顧客提供価値の向上と将来の飛躍に向けた基盤の構築を図り、各種施策を着実に推進しております。そして、信頼性の高い企業グループの構築に向け、サステナブル経営の実践、内部統制機能の強化、株主への利益還元、中長期的な利益成長につながる投資の実行を通じて、企業価値の向上に取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高507億91百万円（前年同期比74.0%増）、営業利益19億20百万円（前年同期比66.7%増）、経常利益21億75百万円（前年同期比48.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益12億46百万円（前年同期比23.5%増）となりました。また、重要な経営指標として定めているのれん償却前営業利益は28億57百万円（前年同期比87.4%増）となりました。

$$( \text{のれん償却前営業利益} = \text{営業利益} + \text{のれん償却額} + \text{企業結合に係る無形資産償却額} )$$

セグメント別の業績は、次のとおりあります。

#### (ブランド事業)

ジュエリーSPA事業を展開するエフ・ディ・シィ・プロダクツグループでは、女性客の支持拡大に向けたマーチャンダイジング（MD）改革の推進や、価格政策の見直しに引き続き取り組んでおります。

また、高級ブランド時計のリユース販売を手がける㈱羅針では、グループの財務基盤を活かした商品ラインアップの拡充による既存店の伸長や、新宿店の出店効果もあり、売上高が拡大いたしました。

その結果、売上高は319億89百万円（前年同期比201.9%増）、営業利益は16億87百万円（前年同期比237.0%増）と増収増益となりました。

#### (アパレル事業)

デイリーファッション「パレット」を展開する㈱アージュは、既存店の伸長や新規出店・増床により、売上高は堅調に推移いたしました。

アスティグループは、強みである海外生産基盤を背景に、素材提案力を強化した結果、主力取引先との取り組みが拡大し、売上高・営業利益ともに伸長いたしました。

その結果、売上高は188億2百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は10億55百万円（前年同期比3.8%増）と増収増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態につきましては、資産は主に、商品及び製品が27億46百万円増加、受取手形及び売掛金が12億71百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して46億47百万円増加し、711億42百万円となりました。負債は主に、支払手形及び買掛金が14億18百万円増加、電子記録債務が4億87百万円増加、短期借入金が13億円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して41億73百万円増加し、317億33百万円となりました。純資産は主に、その他有価証券評価差額金が9億27百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して4億74百万円増加し、394億9百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月11日に公表した連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,708	2,083
受取手形及び売掛金	2,926	4,198
商品及び製品	14,127	16,874
仕掛品	110	6
原材料及び貯蔵品	336	244
その他	736	1,344
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	19,939	24,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,045	3,808
土地	5,839	5,664
その他（純額）	383	353
有形固定資産合計	10,267	9,826
無形固定資産		
のれん	8,553	7,809
顧客関連資産	1,107	984
技術関連資産	439	370
その他	466	438
無形固定資産合計	10,567	9,602
投資その他の資産		
投資有価証券	21,475	22,761
退職給付に係る資産	449	474
その他	3,841	3,780
貸倒引当金	△47	△47
投資その他の資産合計	25,719	26,969
固定資産合計	46,555	46,398
資産合計	66,494	71,142

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,957	3,376
電子記録債務	340	828
短期借入金	4,900	6,200
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000
未払法人税等	748	794
賞与引当金	226	411
役員賞与引当金	11	46
ポイント引当金	50	45
資産除去債務	93	24
その他	1,975	2,370
<b>流動負債合計</b>	<b>12,305</b>	<b>16,097</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	8,000	8,000
役員株式給付引当金	282	308
退職給付に係る負債	437	443
資産除去債務	913	902
その他	5,620	5,981
<b>固定負債合計</b>	<b>15,253</b>	<b>15,635</b>
<b>負債合計</b>	<b>27,559</b>	<b>31,733</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,486	2,486
資本剰余金	7,170	7,157
利益剰余金	30,153	29,604
自己株式	△6,104	△6,074
<b>株主資本合計</b>	<b>33,706</b>	<b>33,174</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	5,601	6,528
繰延ヘッジ損益	△20	34
土地再評価差額金	△233	△225
退職給付に係る調整累計額	△138	△114
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>5,208</b>	<b>6,223</b>
<b>新株予約権</b>	<b>20</b>	<b>11</b>
<b>純資産合計</b>	<b>38,935</b>	<b>39,409</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>66,494</b>	<b>71,142</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年 3月 1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年 3月 1日 至 2025年11月30日)
売上高	29,193	50,791
売上原価	15,307	34,012
売上総利益	13,885	16,779
販売費及び一般管理費	12,733	14,858
営業利益	1,152	1,920
営業外収益		
受取利息	108	110
受取配当金	188	233
為替差益	9	8
その他	19	27
営業外収益合計	325	379
営業外費用		
支払利息	0	112
支払手数料	7	—
その他	1	12
営業外費用合計	9	124
経常利益	1,468	2,175
特別利益		
固定資産売却益	—	505
投資有価証券売却益	541	201
特別利益合計	541	707
特別損失		
減損損失	128	99
店舗閉鎖損失	11	8
建物解体費用	177	—
ブランド整理損	—	370
投資有価証券評価損	—	57
特別損失合計	318	535
税金等調整前四半期純利益	1,691	2,347
法人税等	682	1,100
四半期純利益	1,008	1,246
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,008	1,246

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年 3月 1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年 3月 1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	1,008	1,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	314	927
繰延ヘッジ損益	△14	55
土地再評価差額金	—	8
退職給付に係る調整額	15	24
その他の包括利益合計	315	1,015
四半期包括利益	1,324	2,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,324	2,261

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年 3月 1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年 3月 1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	490百万円	702百万円
のれんの償却額	372	744

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランド事業	アパレル事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	10,539	17,979	28,518	—	28,518
その他の収益（注）3	54	619	674	—	674
外部顧客への売上高	10,594	18,598	29,193	—	29,193
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	101	102	△102	—
計	10,594	18,700	29,295	△102	29,193
セグメント利益	500	1,016	1,517	△365	1,152

(注) 1 セグメント利益の調整額△365百万円には、のれん償却額△372百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△374百万円、セグメント間取引消去額381百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、不動産賃貸収入であります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「アパレル事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、92百万円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年11月30日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランド事業	アパレル事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	31,931	18,198	50,129	—	50,129
その他の収益 (注) 3	57	604	661	—	661
外部顧客への売上高	31,989	18,802	50,791	—	50,791
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	96	96	△96	—
計	31,989	18,898	50,887	△96	50,791
セグメント利益	1,687	1,055	2,742	△822	1,920

(注) 1 セグメント利益の調整額△822百万円には、のれん償却額△744百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△349百万円、セグメント間取引消去額271百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、不動産賃貸収入であります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ブランド事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、124百万円であります。なお、そのうち87百万円はブランド整理損に含まれております。

「アパレル事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、62百万円であります。